

みんなで防ごう土砂災害

6月は土砂災害防止月間です



梅雨前線の影響で降雨が多くなる6月は、土砂災害の発生が心配されます。災害はいつ起こるかわかりません。被害を最小限に抑えるために、日ごろから家庭での災害対策と身近な危険箇所を確認し、早めの対応を心がけましょう。

○**家庭での災害対策**

- ・指定避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- ・非常持出品を袋に入れて準備しておきましょう。
- ・緊急時の連絡先や家族の行動計画について話し合いましょ。

土砂災害全国統一防災訓練

- 日時 6月1日(日)午前9時～
- 場所 国府町桐谷地内ほか
高山市、桐谷町内会、消防団国府支団など、約250人が参加して、土砂災害を想定した防災訓練を行います。

○危険が迫ったとき

テレビやラジオなどの気象情報に注意し、災害が発生しそうな場合は、すぐに避難しましょう。

避難の際は、手荷物は少なく身軽にして指定避難所へ避難しましょう。

市では、避難が必要と判断した場合、避難勧告や避難場所の開設状況などの情報を、防災無線、市ホームページ(携帯電話でも閲覧可能)、ヒッツFMのほか広報車や町内会長への連絡などによりお知らせします。



HP <http://www.city.takayama.lg.jp/>
携帯用HP <http://www.city.takayama.lg.jp/i/>

●危険箇所パトロールを実施します:6月19日・市内40ヵ所

問合せ先

企画課 35-3131
維持課 35-3340

高山市南部をめぐるモニターツアー 歴史や自然の魅力がいっぱい



ガイドの説明を受けて旧野麦街道を歩く参加者(松本市との境)



飛驒一宮水無神社(一之宮町)

高山市の南部地域の名所をめぐるモニターツアーが5月18日に行われ、各地の自然や歴史を満喫しました。

「飛驒南部の歴史にふれる旅」と題したツアーは、一之宮、久々野、朝日、高根地域の観光事業に携わるキーパーソンで作る「広域観光振興会議」が主催。

同地域の振興を目的に昨年発足し、今年初めてモニターツアーを実施しました。

当日は高根地域の野麦峠を皮切りに、朝日地域のカクレハ高原、久々野地域の堂之上遺跡、一之宮地域の飛驒一宮水無神社を、地元のガイドを受け見学。参加者からは「まだまだ知らない地域の魅力がいっぱい」「今度は知人や家族を誘って行きたい」との声が上がっていました。

なお、このモニターツアーは今秋にも開催されます。